

国際会議の開催について

アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナーの開催（11回の継続開催）

- ✓ JADAでは2006年より毎年、アジア地域のアンチ・ドーピング関係者を招聘し、国際会議を開催している。
- ✓ 今年度の開催（2017年12月5～6日）で11回目の開催となり、過去4年間の出席国数、人数は以下の通り。
- ✓ 本会議の目的は、アジア地域のアンチ・ドーピング関係機関の人材育成のため、NADO（National Anti-Doping Organization）の人材を中心に招聘している。

アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナー 直近4か年の出席国及び人数

		2014	2015	2016	2017(予定)
出席国数		18ヶ国	22ヶ国	27ヶ国	23ヶ国
出席人数合計		40名	43名	52名	48名
内 訳	NADO	24名	27名	30名	36名
	NOC	2名	3名	5名	1名
	RADO	9名	8名	9名	8名
	その他	5名	5名	8名	3名

- ① 2015年からオセアニア地域も加わったため、2015年以降は会議名称を「アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナー」となった
- ② 上記には、オブザーブ参加で自費出席の人数も含まれる。国際会議のスピーカーとして、海外から招聘した人数は含まれない。
- ③ NOC: National Olympic Committee RADO: Regional Anti-Doping Organization 地域アンチ・ドーピング機関

アジア地域の多くの国において、アンチ・ドーピング活動には政府関係者が係るケースが多い。本会議において、NADOから招聘している人材の多くが、政府機関の役職者でもあるケースが多く見受けられる。このような点から、本会議は単なるアンチ・ドーピングの人材育成にとどまらず、政府間支援としての意味合いも持つといえる。

(参考)アジア・オセアニア国際アンチ・ドーピングセミナーの開催(2014~2017年の参加国)

継続的にアジア地域から招聘することで、
中長期的な視点でアジア地域における
 アンチ・ドーピング関係者の人材育成に貢献。

またアジア地域における人脈を確立する上でも
 本会議の位置づけは大きい。

4年間継続 参加国

韓国、中国、マレーシア、台湾、
 カタール、シンガポール

直近3年 参加国

ブルネイ、インド、ヨルダン、モンゴル、
 オマーン、ベトナム、サモア

2014	2015	2016	2017(予定)
バングラディッシュ ブルネイ	アメリカンサモア ブータン	バングラディッシュ ブルネイ	ブータン ブルネイ
中国	カンボジア 中国	中国 クック諸島 フィジー 香港 インド	中国 クック諸島
インドネシア ヨルダン カザフスタン	フィジー インド インドネシア ヨルダン	ヨルダン	香港 インド インドネシア カザフスタン
韓国	ケニア 韓国	ケニア 韓国 クウェート	韓国 クウェート
レバノン	レバノン マカオ	マカオ マレーシア	マレーシア
マレーシア	マレーシア モルディブ モンゴル	モンゴル ミャンマー ネパール オマーン	ミャンマー オマーン パラオ
モンゴル	オマーン	パレスチナ カタール サモア	カタール サモア
パレスチナ カタール	カタール サモア	サウジアラビア シンガポール スリランカ	シンガポール スリランカ
シンガポール	シンガポール	シリア 台湾 タイ	台湾 タイ トルクメニスタン
スイス	台湾 タジキスタン	ウズベキスタン	
台湾			
アラブ首長国連邦			
ベトナム	ベトナム		ベトナム イエメン

※RADO(地域アンチ・ドーピング機関)からの参加者は、上記には含まれていない。

